

Coming Art 2023

Exhibition
The Museum of Modern Art, Saitama



Coming Art 2023

第14回埼玉県障害者アート企画展
カミングアート2023

埼玉県内の障害のある作家103名の
多様な作品を
一堂に展示

一般展示室 12



小椋 知弘

今年で14回目を迎える埼玉県障害者アート企画展。埼玉県が実施する「障害のある方の表現活動状況調査」には毎年、「これってアート?」と思われる表現から、社会的に注目を集める作家の新作まで実に多様な作品が集まります。この調査をもとに、30以上の福祉施設や行政の職員、美術の専門家などがネットワーク(埼玉県障害者アートネットワークTAMAP±O)を結び、それぞれの視点で話し合いながら展覧作品を選考しています。本展では、交ざりあう価値観の中から選び抜かれた、103名の作家による600点を超える作品をお届けします。

■関連イベント アーティストトーク

日時:12月2日(土) 10:30~14:00【予定】

出展作家や支援者が作品について思いを語り、トーク予定の出展作家についてはHPをご覧ください。

- 主催 埼玉県障害者アートネットワークTAMAP±O、社会福祉法人ふゆま福祉会
- 共催 埼玉県、埼玉県障害者アートフェスティバル実行委員会
- 後援(予定) 上野市、春日部市、川口市、浦和市、久喜市、熊谷市、さいたま市、狭山市、鶴ヶ市、所沢市、戸田市、新倉市、蓮田市、鴻巣市、東松山市、日本橋、深谷市、本庄市、三郷市、毛呂山町、吉川市、吉見町、若狭町、黒川町、川東市 日本文化出版社
- 協力 アートセンター集力委員会
- 助成 令和5年度埼玉県障害者芸術文化活動普及支援事業(埼玉県補助事業)
- 監修 中津川浩幸



小椋 知弘



中津川 浩幸

「なぜ?」「どうして?」「これって、アートなの?」

埼玉県障害者アート企画展は、いわゆる一般的な障害者アートの公募展とはかなり違った展覧会です。作品のクオリティが高いことに加え特筆すべきは「表現のバリエーションが豊富」なこと。それはなぜ、どうなのか。障害がある人たちの個別の「表現」に関する詳細や考察を写真付きで記した埼玉県独自の「表現活動状況調査」の取り組みも大きいです。オーソドックスな絵画や立体作品だけではなく、「一見理由がわからないが続けている「行為」や「収集しているもの」などもその人の「表現」の可能性としてとらえるなど、一般的な「アート」の枠をはみ出す実に幅広い豊かな「表現」の数々がとても魅力的で面白いのです。展示する作家、作品のセレクトには、美術の専門家だけでなく福祉現場で働くスタッフ、弁護士、デザイナーなども加わり、それぞれの視点から多様な価値観を反映したセレクションになっています。「なぜ?」「どうして?」「これって、アートなの?」―「芸術」という枠を超えた人間のやむにやまれぬ「表現」の多様性。それが一瞥できる展覧会です。

監修:中津川 浩幸

■出展作家(カミングアート2023 103名)

相澤太郎、岡久英二、岡部香織、岡部美希、新井美沙、若井真良、飯田大空、五十嵐珠斗、石井章、石川直人、磯田淳夫、伊藤裕、益崎清志、若井大知、内田拓真、及川礼、大津南、大野薫、尾ヶ井保規、小椋知弘、金谷啓太、金子隆夫、川原大樹、後藤彩花、小林一稀、コバヤシユウ、小林大河、小林ちゃん、小牧美穂、斎藤健隆、菅原元、坂倉直樹、佐藤謙生、横橋貴之、安部博尚、柴田和、山本七恵、シラウシユウ、佐田大河、杉山直哉、堺口エイ子、関口直子、明間平、高野博史、木塚典夫、高橋裕子、田中裕貴、チバヤサム、塚田祐貴、出羽まな、高田洋治、なお丸、長澤尊、中野悠、並木信弘、西川泰弘、新田新次、野口敏久、野村真保子、長谷川栄子、長谷部航輝、羽生田優、はみん、林良穂、平川寛隆、フエリンク、嵐島尚一、へのん、斎藤萌生、益子美奈、町田真希、松尾大輔、松崎悠希、丸谷祥徳、山口道、森川里穂香、森司由、森理菜子、新内祐希、山岸大誠、山口梨、山口由紀子、山崎利之、藤、内田祐一、横井雅美、横山涼、吉川健司、吉田夏司、吉武武、吉野聖紀、吉野聖紀、ヨシノ、chigusa、D.J.E.J.、EMI、Fumi、K.D.、KOJUI、Mi、Yasuhiro Nonaka、Victor tan

情報配信

後日、展覧会とアーティストトークの様子をInstagram等で配信します。



YouTube

Instagram

niigata ↔ saitama

Exhibition
The Museum of Modern Art, Saitama



niigata ↔ saitama

アートミーティング at さいたま国際芸術祭
さいたま国際芸術祭2023 市民プロジェクト「創発inさいたま」

障害のあるさいたま市の作家6名と
新潟市の作家7名の初めての交流展覧会

一般展示室 3



中津川 浩幸

埼玉県は2009年から障害のある人の表現活動の状況調査を行ってきました。その調査をベースに作品を選定し、展覧会を開くという独自の手法は、全国でも注目されています。新潟市では、その手法を参考にして、調査を元にした展覧会が2020年から始まりました。この「アートミーティング at さいたま国際芸術祭」は、さいたま市のアーティスト6人と新潟市のアーティスト7人を変えた初めての交流展覧会です。文字や言葉への興味、乗り物への集中力、描かれた地域の物語、繊細な線や奔放な色など、アーティストそれぞれの作品は独自の表現ですが、ときには似たような関心が見えてきます。生きることが表現することであるような作品と出会うことから何を感じられるでしょうか。本展は、さいたま国際芸術祭2023市民プロジェクトである「創発inさいたま」のキネレーター企画事業として開催する展覧会です。 監修:前山裕司

■関連イベント キャラリートーク

「表現の種をまくさいたまから新潟へ」
埼玉県が障害者アートを選定してきた独自の手法について、また新潟側での広がりについて、そして今後の展望について語ります。

日時:12月3日(日) 11:00~12:00 定額制有料

会場:埼玉県立近代美術館 一般展示室2

- 主催 新潟県美術特任職員 前山 裕司
- 協力 アートセンター集力委員会 中津川 浩幸
- 協賛(予定) 新潟県障害者芸術文化活動普及支援事業(新潟市補助事業) アーツカウンシル新潟プロジェクト実行委員会 横木 一子

「創発」in さいたまについて

2009年より始まった埼玉県のアーティスト、キャラリエ、美術関係者をつなげ、ひとつのムーブメントを生み出すという活動「さいたま美術展創発プロジェクト」、今回は「さいたま国際芸術祭2023」に合わせて、さいたま市を中心に3つのプログラムを展開します。画廊や美術館、キュレーターが行う「展覧会プログラム」、市民や学校が参加する「イベントプログラム」、これらの情報を発信する「広報・記録プログラム」。地元ゆかりのある作家やキャラリエ、関係者、さらには市民とともに地域と美術の魅力を掘り起こしていきます。

※観覧: 展示内容や準備の都合などにより変更があり、全体として観覧できません。

- 主催 さいたま国際芸術祭実行委員会、社会福祉法人ふゆま福祉会
- 協力 公益財団法人新潟県芸術文化振興財団アーツカウンシル新潟、新潟県障害者芸術文化活動普及センター、新潟市
- 協賛 前山裕司(新潟市美術特任 特任職員)
- 出展作家 石塚真、今野真由子、斎藤一、後久間竜斗、佐々木直生、藤田健一、杉澤真、林清太郎、田中勝彦、土田孝、手塚真美、松島真由、宮川理子

Counter Point

Exhibition
The Museum of Modern Art, Saitama



Counter Point

「カウンターポイント」それぞれの寄り添うたち」
南関東・甲信越ブロック合同企画展2023

南関東・甲信越の
1都5県の障害のある作家11組の
ジャンルを超えた
多様な作品を紹介

一般展示室 4



山本 美

昨年度開催した南関東・甲信越ブロック合同企画展「カウンターポイント」それぞれの寄り添うたち」展の内容を踏襲し、今年度も「寄り添うたち」をテーマに障害のある人の絵画、立体作品、演劇や人形劇などのジャンルを超えた多様な表現をご紹介します。また、「地域×福祉×支援×表現」という切り口で各センターと作家、施設、支援者との関係性をお伝えします。

*カウンターポイント: 地域×福祉×支援×表現、それぞれの個性を共有しながら出展する施設



山本 美

■関連イベント パフォーマンス実演

OUTBACKアクターズスクールの演劇パフォーマンス、金澤一廉さんによる人形劇を実演します。

日時:12月3日(日) 14:00~

会場:一般展示室4

- 主催 南関東・甲信越障害者アートサポートセンター、社会福祉法人ふゆま福祉会
- 協力 東京アートサポートセンター-Rights(ライツ)、群馬川原障がい福祉文化施設支援センター、千葉アートプロジェクトセンターのふゆま、YAN山崎アールプロジェクトのふゆまセンター、埼玉県障害者芸術文化活動普及支援センターアートセンター-集、ARTinさいたま、ARTinさいたまサポートセンター(長野県障がい者芸術文化施設支援センター)、OUTBACKアクターズスクール、まあるい広場
- 助成 令和5年度障害者芸術文化活動普及支援事業(厚生労働省)
- アドバイザー 中津川浩幸
- 出展作家 OUTBACKアクターズスクール、長澤倫香、笠原裕子、金澤一廉、小椋健太郎、佐谷尊、高橋直之、都築沙、等々力ヒロコ、柳本直樹、山本美



OUTBACKアクターズスクール



山本 美



1 Victor ban



1 D.J.E.J



1 高谷朝 軌跡



1 高橋 祐子



1 横田 淳夫



1 笠原 晴広



1 小丸 九



1 森崎 俊樹



1 関口 エイ子



1 高橋 智生



1 平川 貴雄



2 斎藤 博一



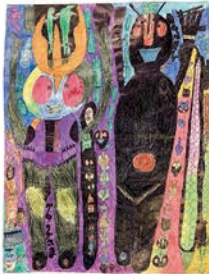
2 辻田 亨



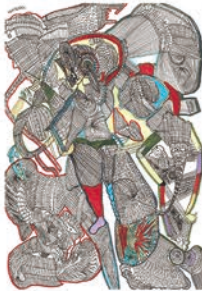
1 山本 文雄



1 藤原 和



1 濱田 聖治



3 朝岡 洋



1 長澤 孝



1 山本 七恵



3 小林 健太郎



3



3



3



3

1「埼玉県障害者アート企画展」 出品作品 2「アートミーティングatさいたま国際芸術祭」 出品作品 3「南関東・甲信ブロック合同企画展」 出品作品



横井 真実

埼玉県障害者アート企画展「Coming Art 2023」は今年で14回目を迎える埼玉市内の障害のある作家を紹介する大規模展覧会。今年も常連作家の新作や、日々の生活から生まれた多様な作品が並びます。

「アートミーティングatさいたま国際芸術祭」はさいたま国際芸術祭2023市民プロジェクトの一つである「創発inさいたま」のキュレーター企画事業として開催します。さいたま市と新潟市で活動する障害のあるアーティストの初めての交流展覧会です。

南関東・甲信ブロック合同企画展2023「カウンターポイント-それぞれの寄り添うかたち」は、障害者芸術文化活動普及支援事業（厚生労働省）により、東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県、長野県、山梨県に設置されている障害者芸術文化活動支援センターの合同による展覧会です。



飯田 大空



飯澤 名義



2023年11月29日(水) - 12月3日(日) 10時~17時 (最終入場は16時30分) 会期中無休
埼玉県立近代美術館 | 一般展示室1・2・3・4 [地下1階] | 入場無料

Counter Point

南関東・甲信ブロック合同企画展2023

会場

埼玉県立近代美術館
一般展示室1・2・3・4 [地下1階]
埼玉県さいたま市浦和区常盤9-30-1
Tel:048-824-0111



埼玉県立近代美術館 埼玉県立近代美術館 埼玉県立近代美術館 埼玉県立近代美術館 埼玉県立近代美術館 埼玉県立近代美術館 埼玉県立近代美術館 埼玉県立近代美術館 埼玉県立近代美術館 埼玉県立近代美術館

お問い合わせ

社会福祉法人みま福祉会 工務集
Tel:048-290-7355
E-mail:artcenter@kob-syu.com
URL:https://artcenter-syu.com



山口 由紀子

